

# 不動寺だより

瑞宝山 不動寺  
平成29年4月  
TEL 0736-75-4862

## 平成28年9月からの主な不動寺行事

### ●平成28年9月28日 護摩焚き



この日の護摩焚きに新しいお地蔵さまが仲間入りしました。

かつてのJPC(全国患者家族協議会)の役員仲間、山岡章子さんから貝殻と小石で作られた可愛いお地蔵さま人形が送られてきました。

早速おたすけ地蔵尊の前にお祈りさせていただきました。

仁淀川の石と太平洋海岸の貝殻で造られたそうです。多くの持病に負けずご主人が5年かけて160軀作られ、個展に出品されたものの3軀だそうです。



当寺のおたすけ地蔵尊は敏子さんがパーキンソン病と診断されたあと「病を持つ人の心に寄り添う」お地蔵さまとして建立されました。

奉納いただいたお地蔵さまはまさにおたすけ地蔵様の心身仏として、病に苦しむ人々の心に寄り添ってくれるでしょう。

### ●平成28年10月22日 土寺小屋



皆さん、3月からはじまっている梵字の練習に熱心です。

もともと梵字は竹べらのようなもので書かれていたこともあって、筆送りなどになると「難しい、難しい」といながら副住職のお手本を見ながら指導を仰いでいました。



最終的に、小屋生の皆さんは自分の守り本尊の種字を梵字で書いたり、各種ご真言を練習して、いずれは色紙や掛け軸にできるようにがんばっています。



この日の御弥津は副住職の子どもたちも手伝ってつくった「白玉ずんだ餅」でした。

ちなみに土寺小屋はどなたでも参加できます。

### ●平成29年1月28日 初不動大祭

毎年恒例の初不動大祭が厳修されました。

庫裡でのご詠歌法要に続き本堂で護摩法要が営まれました。住職の法話のあとおぜんざいの接待が行われ、仕上げは盛大にお餅投げが行われました。



#### 初不動の法話「和歌山発祥の文化と無駄なもの」

「かつお節、味噌、醤油、高野豆腐、わさび(真妻)、蚊取り線香や通仙散(全身麻酔薬)などは和歌山が発祥です。

##### 1. かつお節

印南町の角屋甚太郎を中心とする3人の漁師が四国土佐にカツオ漁に行き、鰹節の作り方を伝えた。(青カビ菌のはたらき)

##### 2. 味噌・醤油

由良興国寺に僧覚心が伝えた味噌造りからはじまった。醤油つくり7代目浜口吾稜(「稲村の火」で有名)が千葉に行きヤマサ醤油を名乗る。(こうじかび)

##### 3. 高野豆腐

高野山の僧侶が保存し忘れた豆腐が凍ったものを食べるとうまかった。(捨てられる存在)

##### 4. 真妻わさび

静岡のわさびは印南町から昭和36年に苗がもたらされた。(辛み成分)

##### 5. 蚊取り線香

上山英一郎(金鳥)が除虫菊から作った。(花の毒性分)

##### 6. 全身麻酔薬「通仙散」

華岡青洲がマンダラゲから作る。エーテルの42年前に成功。(マンダラゲのアトロピン毒性)

※汚いもの、腐ったもの、毒になるもの、一見、無駄や不要と思われるものが素晴らしい価値あるものを生み出して、人の役に立っている。

時には目に見えないもの、何か劣っているように見えるものが素晴らしいはたらきをしている。

人も、障害を持っている人や病気を患っている人の存在が優しい心や思いやりという心の栄養を与えられていることに気づくことが大切です。全てに価値があるということ。

自分の判断で無駄と思う心を少しなくしていくことが大切というようにお話でした。